

vol.48  
Japanese Red Cross Fukuoka Hospital

# Cross Heart

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表											
○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です											
科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名			
総合診療科	川本 徹				○		内科一般	副部長			
	総診当番医①	○	▲	○	▲		※当番医・内科系医師による交替制				
	総診当番医②	○	○	○	○						
消化器内科	青柳 邦彦		▲	○				副院長、副院長			
	平川 克哉	○		▲				副部長			
	工藤 哲司	▲	○								
	秋吉 大輔	▲			○		消化管 (食道・胃・小腸・大腸)				
	大石 篤美			○	▲						
	野村 亜貴子		▲								
	増原 裕之	○			▲						
	岩武 史朗	○		▲							
腎臓内科	徳本 正憲	▲		○				部長			
	中井 健太郎	○	▲					副部長			
	中川 兼康	○									
	原 雅俊			○							
	宿理 朋也		▲		○						
	井上 めぐみ	▲									
	山岡 奈央	▲									
糖尿病・代謝・内分泌内科	佐々木 伸浩	○			○			部長			
	井元 博文	○		▲	○			副部長			
	川本 徹			●							
	於久 真由美	●		○	▲		糖尿病・代謝・内分泌、生活習慣病				
	藤平 美佳		●	●	●		※内分泌疾患は火・水・金のみ				
	堀内 俊輔	●	●	●							
	内分泌担当医	○	○	○	○						
	中川 瑞穂	▲	▲	▲	▲						
循環器内科	向井 靖	○	○	○				部長			
	増田 征剛	○			▲			副部長			
	松川 蘭一	▲		○				副部長			
	松浦 広英	○	▲					副部長			
	徳留 正毅			○							
	河合 俊輔	○									
	岡原 有秀				○			循環器			
	岡部 浩祐				○						
	酒見 拓矢	○									
	渡部 優										
	中島 光香										
	野間 杉仁										
	木佐貴 洋志										
高血圧内科	大坪 俊夫	○					高血圧	部長			
	河口 知允	○			○			部長			
	木村 真一	○			▲						
	増本 駿	▲		○							
	平田 慎治			▲							
	城 晓大	○			○						
肝臓内科	早田 哲郎	○	○	○				部長			
	西澤 新也	○		○				部長			
	宮山 隆志										
	福山 真										
血液・腫瘍内科	谷本 一樹	○	○					部長			
	平安山 英穂		○					部長			
	河野 一郎	○						副部長			
	次郎丸 高志										
	天津 雅弘										
脳神経内科	北山 次郎	○		○				部長			
	岡田 卓也		○		○						
	佐原 篤之			○							
	池内 泰仁										
膠原病内科	井上 靖	▲	○	○	○			部長			
	田中 淳	○	●	○							
	高月 健作										
感染症内科	石丸 敏之	○			○			副院長			
	岩坂 翔										
	横山 貴士										
	渡部 達										
外 科	中房 祐司	○						院長			
	永井 英司	○			○			副院長			
	木山 健太郎	○	▲					部長			
	小島 雅之	○		○							
	上田 純二	○		○							
	井上 重隆	○		○							
	小倉 康裕	○		○							
	柴井 公輔	○	▲								
	安井 隆晴	○		○							
	松田 生央	○		○							
	松永 壮人	○		○							
	中房 祐樹	○		○							
	鬼塚 哲	○		○							
	林田 さゆり			交替制							
	廣高 健斗			交替制							
	倉元 通宇										
(緩和)(乳 腺)	山崎 草生										
	非常勤医師	○									
心臓血管外科	小江 雅弘	○		○							
	恩塚 龍士	▲		▲							
	継 仁	○		○							
脳神経外科	吉岡 効	▲		○							
	湊 由樹	○		手術日							
	吉永 泰介	▲		▲							

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限ります。

●急患診療体制

※救急車や医療機関からの紹介患者の受入れは、24時間体制で対応いたします。

内科系	平 日	17時00分～23時00分
内科系	土・日・祝日	8時30分～23時00分
小兒科	平日(祝日除く)	17時00分～19時30分
小兒科	土(祝日除く)	9時00分～17時00分

●休診日 土・日・祝・年末年始(12/29～1/3)

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎0570-03-1211



福岡赤十字病院

病院の理念

信頼と調和に基づく最良の医療  
～地域を尊重、世界を視野に～

基本方針

- 質の高い安全な医療
- 救急医療
- 国内外の医療救援活動
- 地域連携
- 教育・研修・研鑽
- 患者・職員満足度の向上

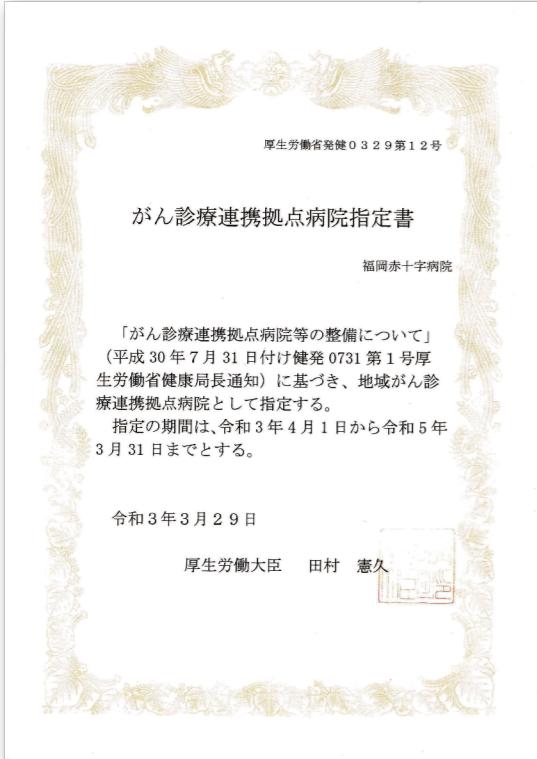


# Feature

当院で今、何が起きてるか  
医療・健康・時事 最新の情報をお届けします

## がん診療連携拠点病院

当院は、2021年4月1日より地域がん診療連携拠点病院として指定を受けました。  
今後はより一層、地域におけるがん診療の中核病院として、質の高いがん診療の提供と情報発信に努めます。



### ーがん診療連携拠点病院とはー

がん診療連携拠点病院は、全国どこに住んでいても「質の高いがん医療」が受けられるように、都道府県の推薦をもとに厚生労働大臣が指定した病院です。

「都道府県がん診療連携拠点病院」を各都道府県に概ね1ヶ所、「地域がん診療連携拠点病院」を2次医療圏に1ヶ所程度整備し、4年ごとに見直しが行われます。

## 低侵襲（ダヴィンチ）手術



胃

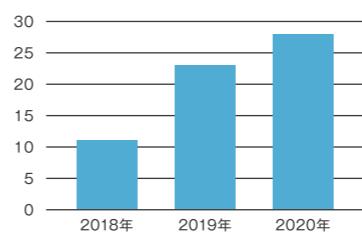


### 適応疾患…胃癌、食道胃接合部癌

1980年代に内視鏡下手術が開始され、機器開発と手技の改善を背景に今や開腹手術にとって代わる勢いです。更に近年内視鏡手術を支援するロボットが開発され、臨床応用されています。2010年に国内販売が開始されたダヴィンチサーボカルカルシステムがその主なもので、2013年に福岡県内で初めてロボット支援下胃がん手術を実施した術者が当院に赴任し、2018年から当院でも積極的にロボット支援下手術を行っています。ロボット支援下手術では内視鏡手術の特徴である①体壁の破壊がない ②術後の腸管麻痺がない ③高画質映像と拡大視効果で詳細な解剖がわかるなどの有用性に加えてロボットの多関節機能と手振れ補正機能、モーションスケーリング機能によって精細で安定的な手術操作が可能となります。その結果、合併症の軽減などが期待されます。胃癌手術の場合、腹腔鏡下手術に比べても肺に関する合併症の少ない手術が可能とされています。

大腸

### ロボット手術数 直腸癌



### 適応疾患…直腸癌

大腸がんは我が国で最も多いがんで、国立がん研究センターの予測値によると2020年には男女計15万人以上の患者さんが発生し、5400人が亡くなるとされています。当科では大腸癌の切除手術を年間110-130例行っていますが、その80%程度を腹腔鏡下手術で行っています。2018年に直腸癌のロボット支援下手術が保険適応となって以来、直腸切除術はダヴィンチを用いて行っています。臨床試験ではダヴィンチによる直腸切除術は腹腔鏡手術と比較して開腹移行率や合併症発生率は同等であることが示されていますが、より時間を要する点や触覚を欠く点などの短所も指摘されています。しかしながら多くの手術例に接するなかで非常に安定した視野でより細かい剥離層の選択が可能となる点など、数字に現われにくいメリットを実感しています。特に難易度の高い肛門に近い病変の切除において、直腸癌手術の有力な選択肢となっています。

肺



### 適応疾患…原発性肺癌、転移性肺癌

当科では手術支援ロボット ダヴィンチを使用したロボット支援下胸腔鏡下肺葉切除術を行っています。従来の胸腔鏡に比べ、奥行きのある3Dの精細な画像を見ながら手術を進めることができます。座って手術を行うため疲労が少なく、軽いコントローラーを操作するので手疲れなどもありません。またロボットアームは胸壁に負担をかけないように動くためこれまでの胸腔鏡手術よりも術後の痛みが軽いと考えています。胸部は肋間神経などの関係で術後の痛みが強いことが患者さんの悩みでしたが、この問題も解決される可能性があります。ロボット手術といつても器械が“勝手に”自動で手術を行うわけではありません。十分に通常の手術経験があり、かつダヴィンチ操作に習熟した専門医が安全に手術を進めますので安心して治療を受けて下さい。患者さんにとって優しいのはもちろんですが、我々医療者にとっても優しいダヴィンチ手術を肺手術にも積極的に行っていきます。

## 泌尿器科系



### 適応疾患…前立腺がん（前立腺全摘除術）、腎臓がん（腎部分切除術）膀胱がん（膀胱全摘除術）

泌尿器科のロボット手術は他の領域より早くから開始され、2012年に日本で初めて前立腺がんに対するロボット支援手術前立腺全摘除術が保険承認されました。その後2016年には腎部分切除術が、2018年には膀胱全摘除術がそれぞれ保険承認されています。

当院では、九州大学病院でロボット手術に長く携わってきた医師が2018年4月に泌尿器科に赴任し、ダヴィンチ導入直後から前立腺がんと腎臓がんに対するロボット手術を開始しています。両手術ともに、がんを含む臓器や部位を正確に切除・摘出し、その後に縫合を行うといった操作が必要となり、手術器具の精緻な動きを得意とするロボット手術の利点が大きく強調され、今ではこれらの手術ではあえてロボット手術ではなく腹腔鏡手術を選択する状況は皆無となっています。

泌尿器科では経験豊富なロボット手術の指導監督認定医を含む2名の泌尿器科専門医・指導医が全てのロボット手術を担当しています。

# Feature

∞ 形成外科 紹介 ∞



## 放射線治療



当院放射線治療部門は、長い歴史があり、その始まりは、昭和32年のコバルト治療装置にあります。幾度か、装置を更新し、より安全に正確な治療装置に変貌を遂げ、現在の高精度な放射線治療装置に移行しております。

スタッフは、がん放射線療法看護認定看護師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士、放射線品質管理士が関わっており、専門スタッフは充実しております。

令和元年4月より、放射線治療専門医も常勤として新たに加わり、年間の患者数は210名、治療件数は4970件と、がん拠点病院の要件を満たし、令和3年4月より、地域がん診療連携拠点病院に指定されました。高精度な機械で、がん病巣をピンポイントで狙って治療するだけではなく、その仲立ちとして、各専門職種のスタッフが、優しく丁寧に、患者さまを安心、安全にサポートしております。今後ともご支援よろしくお願い致します。



## 専門・認定看護師



当院では7名のがん関連の認定看護師（がん化学療法看護3名（1名育休中）、がん放射線療法看護1名、緩和ケア1名）とがん看護専門看護師2名が連携して活動しています。がん患者さんやご家族の病気や治療、療養生活に関する悩み相談を行っています。治療期の方であれば、日常生活と社会的活動を両立して過ごせるように副作用ケアや療養生活に関する困り事に対する支援しています。また主治医や看護師、メディカルクラークからの依頼を受け、病名告知から再発・病状進行の告知後支援、治療選択や療養場所に対する意思決定支援に取り組んでいます。現在はがんと診断された段階から

身体的・心理社会的なつらさをキャッチし、希望すれば必要な情報提供やケア・医療を受けることができるよう、苦痛のスクリーニングを運用しています。これからも患者に関わるすべての職種とチーム全体でがん患者さんを支援することができるように取り組んでいきたいと思います。



副部長

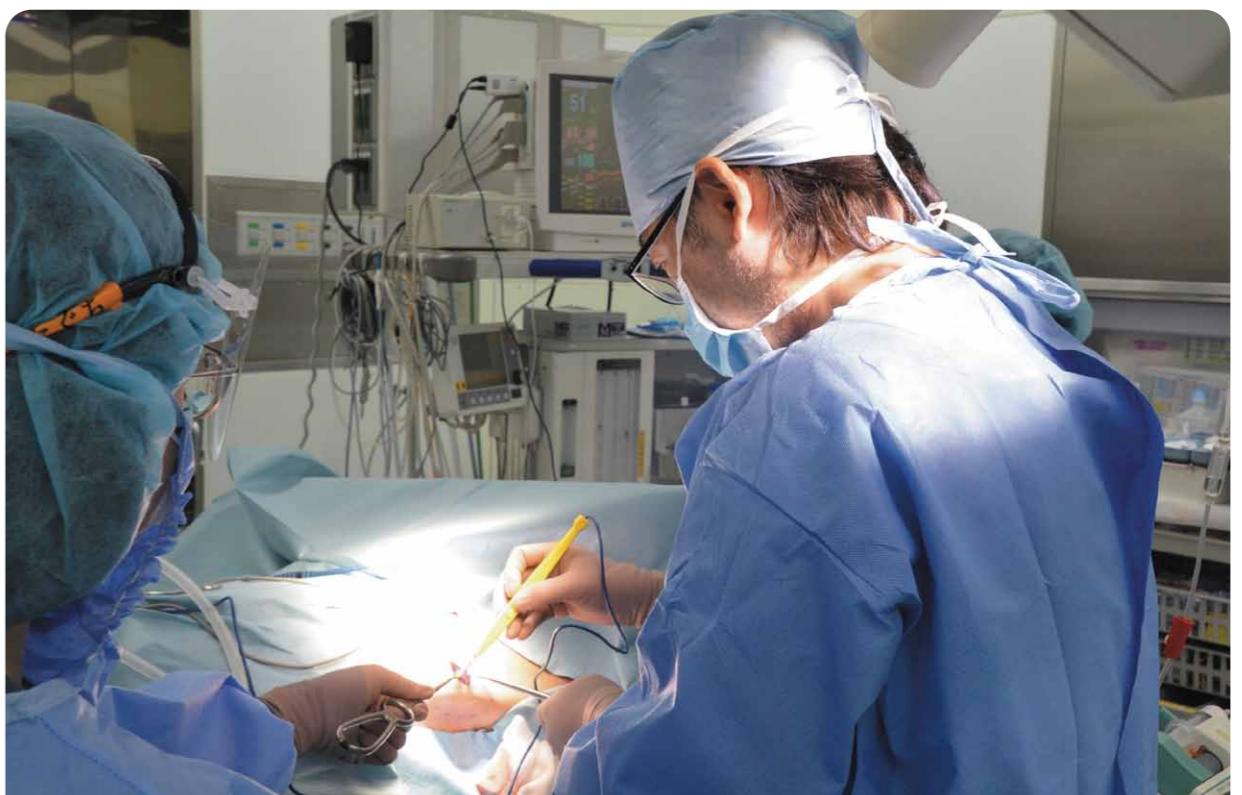
まえ ば たかひろ  
前場 崇宏 先生

Cross  
Heart

形成外科とは先天性あるいは後天性の異常・変形などを形態的・機能的に修復再建する外科です。あらゆる手法や手術を駆使することにより、機能のみならず形態的にも改善させることで、生活の質“quality of life”を向上させることを目標としています。

当院は形成外科専門医研修の形成外科学会教育関連施設となっています。皮膚・皮下腫瘍や軟部腫瘍、顔面の骨折などの外傷、熱傷、顔面（唇裂・小耳症）や手足（多指症・合趾症）などの体表先天異常、瘢痕・ケロイド、癌や軟部組織欠損の再建、皮膚潰瘍、眼瞼下垂など、形成外科全般にわたり診療を行っています。今後ともご支援よろしくお願い致します。

なお、現在1名での診療体制のため、広範囲熱傷や長期入院となる褥瘡などは入院で診ることができません。リンパ浮腫などの特殊専門領域については専門施設に紹介させていただく他、美容医療などの私費診療は行っていません。ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願いします。



Plastic surgery

# あちらら漬け

お盆の時期に、お供えやお盆参りの客をもてなすために用意していました。歯ごたえのある夏野菜を奇数(喜数)用いて、赤唐辛子を加えた酢の物です。冷蔵庫がなかった時代から夏場に日持ちする料理として重宝されました。現在は常備菜として普段の食卓にも活躍しています。

「あちらら」と呼ばれる由来は、ポルトガル語で野菜や果物の漬物を意味する「アチャール」が語源とされています。



## 材料 (4人分)

きゅうり	200g	なす	100g
れんこん	100g	人参	50g
きくらげ	10g	しそ	5g
しょうが	10g	赤唐辛子	1本
酢	30ml	砂糖	20g
塩	3~4g	出し汁	30ml

※使用する野菜は、白ウリやバブリカ、大根、ごぼう、みょうが等もおすすめです。

point 01 食欲維持に役立ちます。

夏は、昼間の暑さや夜の寝苦しさ等により体調を崩して食欲低下しがちですが、酢の物はさっぱりして食べやすく、疲労回復に役立ちます。

point 02 野菜をたっぷり食べることができます。

野菜の中でも根菜類を多く使うので、ビタミン類だけでなく食物繊維を摂ることができます。おなかの調子が整いますよ。

point 03 歯ごたえのある野菜を使います。

歯ごたえのある料理は、自然としっかり噛んで食べることになります。よく噛むことで、「味覚などの発達」「胃腸の働きの促進」「肥満予防」につながります。



## 地域とともに! 登録医紹介

当院の基本理念である「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

### 産婦人科・麻酔科 東原クリニック

#### Q クリニックの診療内容・特色

2000年より福岡市南区野間で無床診療所を開院し今年で21年目を迎えました。小児期から老年期の女性まで幅広く診療を行っております。分娩は行っておりませんが、妊婦健診は実施しており里帰り分娩希望の方は帰省までの間管理し、福岡で出産の方は福岡赤十字病院をはじめとして信頼できる地元の産科施設にご紹介しています。婦人科疾患では更年期障害、子宮脱、月経困難症、婦人科感染症、子宮頸部細胞診異常の精密検査、子宮頸部異形成の管理などを行っています。その他、女性のスポーツ医学にも力を入れており、これまでに長距離選手での無月経・疲労骨折に対するホルモン療法や栄養指導、他競技での大会に向けた月経調節等を行ってきました。「病気を診ずして病人を診る」をモットーに日々の診療に励んでおります。

#### Q 地域の皆様へ一言

当クリニックの前身は私の父(保義)が昭和の時代に当地で開業しておりました東原産婦人科で、父は開業前に福岡赤十字病院産婦人科部長を務めておりました。私も若い頃、松山赤十字病院や福岡赤十字病院での勤務歴があり日赤病院とは深い縁を感じております。当クリニックでは予約制は取っておりません。初診で受診する方の中には他にかかりつけ医を持ちながら、急性疾患で当日の診療を希望しても予約が詰まっていて診てもらえない方が少なからずいます。私の方針は待ち時間が多少長くなつても、当日診療を要する患者さんは必ず当日診るということです。医師として40年間に積み上げた知識、経験を活かし今後も患者さんにより沿った医療を心がけていきます。宜しくお願い申し上げます。



院長 東原 潤一郎 先生  
(日本産婦人科学会認定専門医)  
(麻酔科認定医)  
(日本医師会健康スポーツ医)  
住所 〒815-0041 福岡市南区野間 3-22-34  
TEL 092-554-8111  
診療科目 産婦人科、麻酔科  
診療時間 月・火・水・金 9:00~12:30, 14:00~18:00  
木・土 9:00~13:00  
休診日 日曜・祝祭日

### 伊藤整形外科リウマチ医院

#### Q 医院の診療内容・特色

今年6月9日に六本松に開業した伊藤康正です。六本松は交通の要所であり、高齢者だけでなくビジネス街あるいは学生の町でもあるため幅広い層がいることは開業地として魅力でした。さらに六本松エリアにはリウマチ専門医がほとんどないためリウマチ診療に貢献できるのではないか、と思いました。そのため医院名に「リウマチ」を入れました。土曜日も通常通り夕方まで診療するため、仕事や学校帰りの若年~中高年層のニーズにもお応えできます。

当院の特色は大きく分けて2つあります。1つ目は「予防~手術~術後リハビリを含め一貫した治療を提供できる」点です。手術をしたら他の医療機関に任せのではなく、術前・術後を含めて同じ医師が長期にわたり患者さんへ医療を提供できるのであれば、何より患者さんの安心感につながると思います。

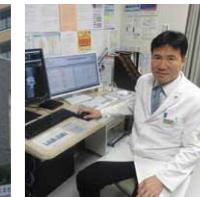
2つ目は「西洋医学と東洋医学を融合した治療」です。薬物療法にしろ手術療法にしろ西洋医学だけでは十分に患者を救えないことがあると感じています。その場合西洋医学だけにとらわれず、心身一如(心と身体の状態は互いに影響するため、治療に際してはその両方に有効な治療が望ましい)とする考え方を基本理念とする漢方などの東洋医学を併用することで、従来の医療では効果不十分な患者さんを救いたいと思っています。

また「人はミスをする生き物」を前提に、間違いや不手際がないようにスタッフ間のコミュニケーションを重視し風通しの良い環境づくりを目指しています。これは福岡日赤で叩き込まれた考え方で、それを引き続き実践したいと考えています。

#### Q 地域の皆様へ一言

従来の治療でとれない痛みや身体の苦しみから患者さんを救いたいという思いで開業いたしました。手術、漢方、理学療法士によるリハビリなどあらゆるアプローチでそれを実現しようと思っています。安易な手術は避けたいと考えますが、手術が必要な状態の患者さんに対してはタイミングを逸することなく最適な手術が提供できるように努めます。同じクリニックビルには内科医院があり気軽にコンサルトできるのも利点です。

六本松地域に根ざした診療を行ってまいります。ぜひ気軽にご相談ください。



院長 伊藤 康正 先生  
(日本整形外科学会専門医)  
(日本整形外科学会脊椎脊髄認定医)  
(日本整形外科学会リウマチ認定医)  
(日本リウマチ学会専門医)  
住所 〒810-0045 福岡市中央区草香江2丁目1-1  
メディカルモール六本松3F  
TEL 092-718-3131  
診療科目 整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科  
診療時間 月・火・水・金・土 9:00~13:00, 14:00~18:00  
休診日 木曜・日曜・祝祭日